

飯盛物語 2



学校教育目標

「命をだいに 人をだいに 自然をだいに美しく」

～やる気(心) 思いやりの心 たくましい心の育成～

飯盛中テーマ「自立 創造 貢献」

R6年度の合言葉「日々前進！」

～昨日の自分よりもさらに一歩前へ！～

第16話 令和6年11月22日発行

校長 池田英二

54名の3年生頑張れ！「チーム飯盛中161」として 生徒の皆さんへ

11月1日(金)から三者面談が始まり、11月14日(木)～15日(金)は2学期末テストが実施されました。3年生は、いよいよ進路実現を目指して、本気になって頑張らなければならない時期にきました。

残念ながらまだ、目の前の進学先のことだけを見ている人が多いと思います。しかし今は、数か月後、数年後、数十年後を見すえて、将来の人生設計を真剣に行わなければならない時なのです。将来自分が何になりたいのかをしっかりと考えて、その仕事や将来の夢の実現のために必要な進学先を選び、真剣に学習を続け受験にチャレンジする時期なのです。

私は、いつも言いますが、受験は「団体戦」であると考えます。3年生には、54名全員で、一人ひとりがそれぞれの目標に向かって、黙々と真剣に努力して頑張る学年の雰囲気を出してほしいです。1・2年生には、落ち着いた学校生活を送り、3年生が本気で頑張ることができる環境(静かに学習に集中できる環境)をつくるために協力してほしいです。そして、先輩方の頑張りをしながら受験生というものがどういうものなのか学んでください。

飯盛中学校では、受験は1・2年生も含めた「全校生徒161名の団体戦」であるという意識をもって臨んでほしいと思っています。『チーム飯盛中161』です。全ての保護者の皆様も先生方も3年生の頑張りを心から応援しています。3年生の皆さん、頑張ってください。



1年生歯の保健指導について【11月18日(月)】

本校歯科校医、増山歯科医院の増山隆一先生 奥様の千絵先生 そして歯科衛生士の皆様に、お忙しい中、来校していただき1年生の生徒のために「お口の教室」を開いていただきました。

この教室の目的は、『永久歯列が完成に近づ

く中学1年生という時期に、歯・口腔の観察や機能の理解を通して自分の歯・口を管理できるすべを学び、「生きる力」を育み、いつまでもおいしく食べられるようにすること』です。しかし、本校の生徒の健康診断では、口腔の状況が良くない生徒が多いという結果が出ています。それは、虫歯になりかけている歯の割合や歯肉炎の治療が必要な生徒の割合が、どの学年も諫早市の割合を大きく上回っているという結果です。要因として、丁寧な歯磨きができていないことや、生活の乱

れ、食習慣・睡眠習慣等の乱れ等も大きく影響しているという報告が学校保健委員会の中で、養護教諭の小森先生からありました。当日は、1年生の各クラスでそれぞれビデオ放映と講話をしていただき、歯の染め出しや歯磨き指導を通して、歯科保健の大切さについて考えました。そして、4～5人の班を作り、増山先生の指示によりグループ討議、発表も行いました。増山歯科医院の皆様方、お世話になりました。とても丁寧でわかりやすいご指導をありがとうございました。



1年生の福祉教育体験学習【11月18日(月)・19日(火)】

18日(月)には、1年生の人権学習の事前学習として、車椅子バスケットボールチームの「長崎サンライズ」の溝口良太様に来校していただきご講話をしていただきました。講話の内容は、「障がい個性」というタイトルで、病気、車椅子バスケットとの出会い、そして夢や目標をもつことの大切さについて話していただきました。子どもたちの心に響く講話で、質疑応答では子どもたちから多くの質問が出ていました。溝口良太様素晴らしいご講話をありがとうございました。



19日(火)には、1年生の総合的な学習の時間に、高齢者疑似体験、車椅子体験、視覚障害者疑似体験を行いました。講師の先生として、諫早市社会福祉協議会の職員の森崎様と福祉体験サポーターとして土井様、塚原様と峯友様に来校していただきました。男女別2人組となりそれぞれの体験と介助を経験しました。講師の先生方のご指導により、子どもたち一人ひとりが高齢者の気持ちや介助の仕方を理解することができました。ご指導ありがとうございました。

2・3年生の英語の授業と1年生の道徳【11月21日(木)】

こどもの城の前館長である池田尚様(人材育成コーチ:諫早市地域子育てコーディネーター)を講師に招いて、1~4校時に2・3年生の英語の授業に入っていただき、午後からは、1年生を対象に、体育館で道徳の内容項目「他者理解」B-(9)相互理解・寛容の授業を行っていただきました。



2・3年生の英語の授業は、英語科担当の本田先生、ALTのファティーマ先生と共におこないました。授業のめあては「How to tell:伝え方」でした。生徒にとって英語を学ぶことを難しく考えるのではなく、英語を学ぶことは楽しくやさしいことであることを伝えてもらいました。そして間違えてもいいので自分の考えを伝えることの大切さをカードゲームや絵を見てストーリーを考える活動を通して丁寧に教えてもらいました。

午後からの1年生の道徳では、Adventure(冒険)という言葉을테마に「他者理解」のために、他人の考えを理解するのは大変だけれど、他人を理解しようとすることの大切さについて、ワークショップを通して子どもたちに伝えていただきました。クラスの代表を2人決めて、その他の生徒が考えたジェスチャーに近づいたら拍手でヒントを与え応援して伝えるというゲームを行いました。1年生の生徒は、これらのワークショップを通して、かけがえのない大切なことを学んだと思います。ギターを弾き語りやカードを使った手品も素晴らしかったです。

1年生の生徒たちがこれからの人生の中で色々な人との良好な人間関係を築いていくための第一歩になる学習になりました。コーチの池田尚様、たいへんありがとうございました。勉強になりました。